

## 庭でのウグイスの営巣と巣立ち

渡辺節夫

八王子の郊外の長沼公園や平山城址公園に隣接した、周囲を丘で囲まれた南陽台という団地に住んでいます。敷地面積は60坪弱で庭の部分は20坪ほどしかありません。私は樹木も好きで高低色々な木が植えてあり、狭い割には野鳥がよく飛んできます。シジュウカラは毎年巣立っていますし、キジバトも巣作りしています。

ところで、今年一番驚いたことはこの狭い我が家の庭にウグイスが営巣したことです。団地の周囲の丘では毎年春から夏にかけて、あちらこちらで何羽ものウグイスが囀っています。また、5月から6月にかけてはホトトギスが盛んに飛び交っており、恐らくこれらのウグイスの巣に托卵しているものと思います。

ある日、庭を眺めていると、何と部屋の窓から1メートルほどのところに巣があり、そこに小柄な鳥が入っていくのが見えました。ガビチョウもよく来ますので巣の形状も確認してみましたが、ウグイスの巣〔写真〕に間違いのないことが確認できました。これが7月13日のことです。

巣穴をちょっと覗いてみましたが、手前は見えませんが巣の中には何も見えませんでした。やがて1羽のウグイスが小さな幼虫らしきものをくわえて、巣の中に入っていましたので、孵化して間もない雛がいることがわかりました。巣穴が窓の方を向いているので、非常によく観察することができました。ウグイスとしては比較的小柄な同一個体が1羽で育雛していたものと思われます。

ウグイスは“一夫多妻”ということですので育雛はそれぞれ雌が1羽で行っているものと思います。

一番残念なのは巣作りの様子が見られなかったことです。巣の高さは17センチ、幅は10センチ、巣穴は直径4センチあり、かなりガッチリした立派なもので、ナンテンの木の地上1.1メートルのところしっかりと固定されています。このような立派な巣を小柄な雌が単独で作ったとはとても信じ難く思います。

もう一つはホトトギスの托卵との関係です。巣の上面は完全に巣材で覆われており、カッコウが托卵するオオヨシキリの巣のように上面が空いていないことと、巣穴の直径がシジュウカラの巣穴の直径約3センチよりやや広いものの、4センチ程度でウグイスがやっと入れる程度しかないということです。ホトトギスが托卵する際にはどのようにしてウグイスの卵を運びだし、自分の卵を産み込むのか不思議に思います。この瞬間を是非見てみたいと思います。

今年の夏は特に暑く、巣穴に西日が当たることもあり、大きくなった雛がしばしば口を開けているのが見えました。巣立ち間際には与える虫もかなり大きくなっていましたし、雛の大きな糞をくわえて持ち出すのも観察できました。7月26日に無事4羽が巣立ちました。最後の1羽はやっとなりの木に止まれる程度で、一旦地面に落ちるとなかなか飛び上れない状態でしたが、午後にはかなり飛べるようになっていたのには驚きました。巣立ち雛に不必要に手をかけるべきではない事がよくわかりました。以



上のような野鳥の環境に対する適応力とそれに伴う分布域の拡大の問題はこれからの重要な研究課題だと思います。

8月20日には、もう一つ同様のウグイスの巣を庭で見つけました。ヤマモミジの幼木、地上1.6メートル、巢の高さ18センチ、幅12センチ、巢穴は直径6センチで北東を向いており、家屋の壁面から55センチで中には何も入っていませんでした。6月に近くでウグイスと思われる巣立ち雛が確かにもがいていましたので関係あるかも知れません。

※ 関係の情報をお持ちの方は下記の宛先にご一報頂ければ幸いです。

E-mail : fwpc1723@mb.infoweb.ne.jp 郵送・Faxの場合は、事務局気付で。

## ■事務局ニュース

◎8月度幹事会8月4日(火)

日本野鳥の会東京事務所

### I. 報告事項

- ①葛西五輪関係について
- ②月例高尾山探鳥会の11月開催について
- ③東京港野鳥公園協議会(7/5日)
- ④7月度事務局会議(7/22日)
- ⑤行事報告13件
- ⑥会合・事務局報告

6月中旬現在 会員数2,684名

### II. 審議事項

- ①前回議事録 …承認
- ②行事予定8件 …承認
- ③多摩川河口干潟シンポジウム …承認
- ④葛西臨海公園鳥類園ウォッチングセンター企画の写真展への協力 …承認



## 編集後記

★鳥天気予報～ 山麓から舞い上がったワシタカ類がゆっくりらせん状に高く舞い上がり、西に向かて一直線に飛んでいったら「晴れ」です(JR高尾駅付近にて)

★10月には室内例会、シンポジウムがあります。「オキノタユウ～」 「野鳥写真講座～」 「多摩川河口～」 詳しくは8～10ページをご覧ください。

なお、それぞれの日付、場所等にご注意ください。

(ロプロプ)



ユリカモメ … 創刊 1954年

2015年10月号(通巻720号) 2015年10月1日発行

発行所 日本野鳥の会東京

(〒160-0022) 東京都新宿区新宿5-18-16

新宿伊藤ビル3階

事務所開館 月・水・金曜日 午前11時～午後4時

(Tel) 03-5273-5141 (Fax) 03-5273-5142

E-mail: office@yacho-tokyo.org

http://tokyo-birders.way-nifty.com/blog/

(研究部) http://homepage2.nifty.com/tokyo-birdstudy/

発行人 川沢祥三

印刷所 ベクトル

年会費 3,500円

郵便振替口座 日本野鳥の会東京 00180-7-152717

本誌記載記事の無断転載禁止